

令和4年度熊本北高校ハイブリッド型 SSH成果発表会 開催



図1 ハイブリッド型SSH成果発表会の会場での様子

3月9日(木)に2年ぶりとなる外部会場を利用したSSH成果発表会を実施しました。今回も、ハイブリッド型での発表会として、オンラインと併せて50名を超える外部参加者の方に来ていただき、盛大に発表会を開催することができました。

配信では、ZoomとYouTube Live配信を組み合わせ、さらにGoogle Formsで質問やコメントをしてもらいました。

70を超える質問やコメントが寄せられ、活発な質疑応答も行われました。

発表会では、1年生の理数科・英語科による活動紹介や課題研究紹介が行われました。

その後の1・2年の代表による課題研究発表では、アントレプレナーシップ、文学、社会科学、生活科学、化学、数学・情報、生物と多様な分野の発表がありました。

運営指導委員による審査の結果、最優秀賞は、

【会場参加】

- ・運営指導委員
- ・高校教育課指導主事
- ・県内大学職員、大学院生
- ・県立技術短期大学校職員
- ・県内高校教員
- ・保護者
- ・理数科・英語科1年、理数科2年、普通科理系及び1・2年代表生徒、職員

【オンライン参加】

- ・科学技術振興機構主任専門員
- ・運営指導委員
- ・県内大学職員、大学院生
- ・県立技術短期大学校職員
- ・県立教育センター職員
- ・県内外高校教員
- ・保護者
- ・1年、2年文系生徒、職員 他

ARⅡ生物班「トマトの追熟温度及び色調と糖度、グルタミン酸量の変化」が選ばれました。

生物班は、8月神戸開催の「令和5年度SSH生徒研究発表会」に学校代表として出場します。



図2 Zoom及びYouTube Liveでの配信の様子

東京開催！自然科学部化学分野 日本金属学会高校生ポスターセッション参加

3月7日(火)に東京都で開催された、日本金属学会2023年春期講演大会での高校生ポスターセッションに自然科学部化学分野の1・2年の代表2名が参加しました。

「阿蘇黄土を固体酸触媒として用いたトリアリールメタン系色素の合成」をテーマに発表をしました。阿蘇の土壌を利用した色素合成というユニー

クな研究に、多くの大学の研究者が訪れ、活発な質疑応答や指導・助言が行われました。

発表中は、今後の研究時に指導・助言を受けるために、名刺を交換する場面もありました。

自然科学部の学会発表で得られた成果は、今後校内の教育課程で実施される課題研究にも生かしていきたいです。



図3 金属学会での発表の様子

仙台開催！理数科2年ARⅡ生物班 日本植物生理学会高校生生物研究発表会参加 奨励賞受賞！

3月16日(木)に仙台で開催された、日本植物生理学会高校生生物研究発表会での高校生ポスターセッションに理数科2年生物班の代表1名が参加しました。

「トマトの追熟温度及び色調と糖度、グルタミン酸量の変化」をテーマに発表をしました。九州からは唯一の参加校であり、トマトの追熟にともなう植

物生理学的な側面だけでなく、データサイエンスを活用した画像解析やアプリ開発についても、多くの質問やコメントが寄せられていました。

海外の研究者との英語での質疑応答や、同じトマトを材料とする一般発表の聴講等も含め貴重な経験となっていました。

3年次の研究での更なる発展を期待したいです。



図4 植物生理学会での発表の様子